

# ノルウェー技術交流会議 報告

目的：ノルウェー道路管理局との技術交流

日程：2005年10月1日～9日（ノルウェー・オスロ～ベルゲン視察、フランス・パリ視察）

参加者：12名参加

技術交流会：技術発表は、日本側からEDO合同部会で発表された事例を中心に発表。講演題目と発表者は、以下の通り。

- |  |                |
|--|----------------|
| 1) 2004年EPS工法施工実績の概要報告                 | (EDO事務局・窪田)    |
| 2) 道路拡幅EPS盛土の振動台実験とシミュレーション解析          | (建設企画・堀田)      |
| 3) 市町村におけるEPS工法の設計・施工事例                | (岡三リビック・小溝)    |
| 4) 中部国際空港島内高架道路へのEPS盛土                 | (カネパールサービス・立岩) |
| 5) 山岳道路における軽量(EPS)盛土工法の設計              | (東京コンサルタンツ・松田) |
| 6) 国道371号特殊改良工事～高強度EPSブロックによる高盛土22.5m～ | (ダウ化工・天辻)      |
| 7) 浮力対策EPSブロックを使用した軽量盛土工法              | (積水化成品工業・中山)   |
| 8) 道路拡幅EPS盛土の簡易壁体構造の検討                 | (EDO事務局・窪田)    |
| 9) 壁付きEPSブロックを用いた歩道部の拡幅                | (JSP・小林)       |



ノルウェー道路管理局全景



技術交流会議の状況

上段：ノルウェー道路管理局のヘレン リッセル・ルト テクノロジー長  
中段：ノルウェー道路管理局のオーボエ氏  
下段：元ノルウェー道路管理局土質部長のフリーデント氏

## 【懇親会】

会議終了後、我々一行が滞在したオスロ・グランドホテル近くの中華料理店「北京」にて、ノルウェー道路管理局の2名の方をお招きして、懇親会を行った。

次回のEPS工法国際会議開催場所の話題で盛り上がりが、メキシコで決定。



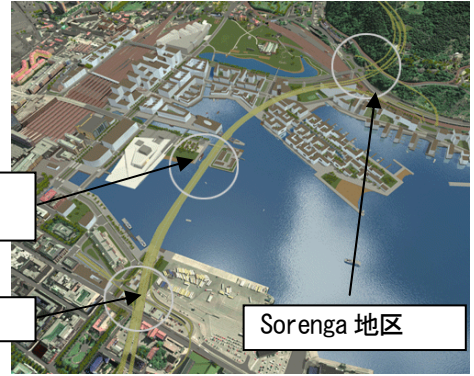
【 ノルウェー現場視察その1 E18 Bjorvika (ビヨルビカ) プロジェクト 】

オスロ市内の道路交通ネットワークを改善するプロジェクトであり、約 6km の海底トンネル (片側 3 車線) を沈埋トンネルで施工。また、その周辺にオフィスビルやアパートを現状の交通を規制せずに建設を進める予定とのこと。



工事事務所はこのあたり

オペラ座建設中



【 ノルウェー現場視察その2 Loenga (ローエンガ) 橋 】

1983 年に施工された高さ 5.5m, 延長 90m, EPS 施工量 4,000m<sup>3</sup> の現場撤去。

EPS を一部撤去する工事を 9 月 5 日から実施。床板コンクリートと鉄筋を分別するための手間がかかり、また床板コンクリートの撤去時に最上段の EPS ブロックを破損したとのこと。撤去された EPS ブロックの品質をチェックしたところ、密度・強度・含水比・外観などに問題はなかったため、別のプロジェクトに使用する予定。



【 ノルウェー現場視察その3 アパート建築現場 】

オーレ コリエス氏から説明を受ける。

工期が、残り 1 ヶ月しかなく慌しかったため、EPS の採用経緯など詳細な説明は受けられなかったが、このアパートの建屋間に高さ 3.5m の EPS ブロックを 4,000m<sup>3</sup> 施工しているとのこと。EPS ブロックの上部には覆土がなされ、消防車なども通行する計画になっている。明確な採用理由は確認できなかったが、購入土より安価であったか、盛土による建屋への影響または交通荷重による振動防止などが考えられる。



【 ノルウェー現場視察その4 R36 Ryen (リエン) 】

1977 年に施工された軟弱地盤上の橋台取り付け EPS 盛土の現場を視察。

EPS は、盛土のり面内に施工されているため確認できなかったが、橋台・路面には変状がなかった。



ノルウェー国立美術館入口にて



ノルウェーグットヴァンゲンフィヨルド 村前にて